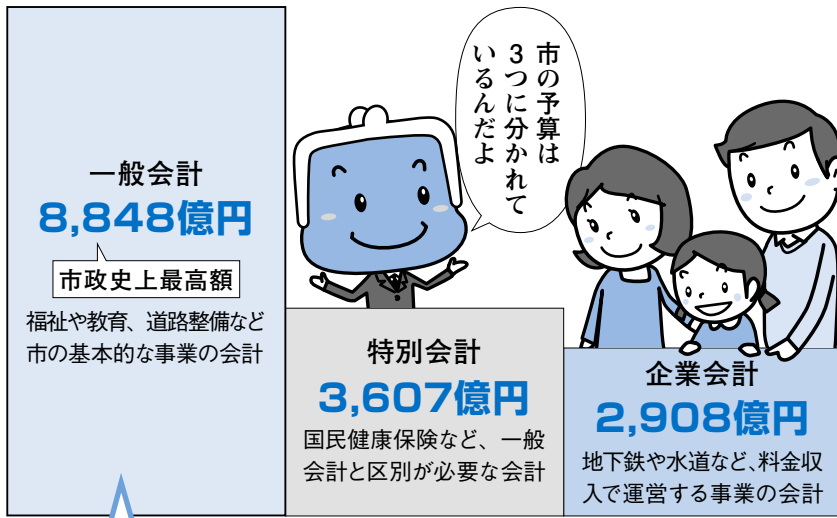
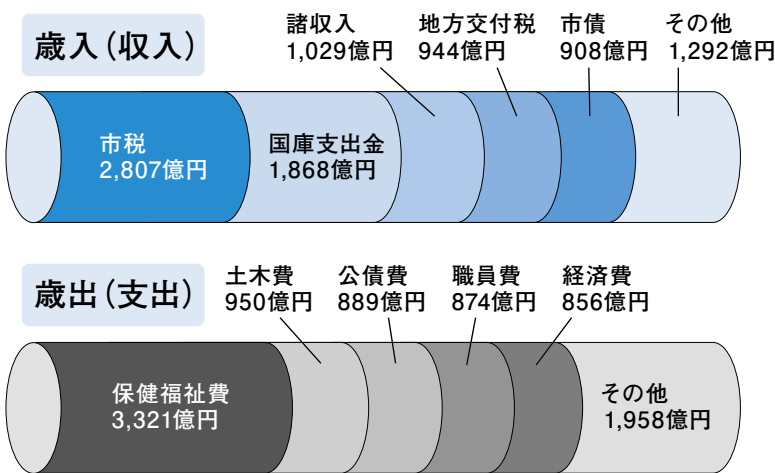


# 平成26年度の予算はこちら！

予算は、1年間の収入と支出の見込みを表したものです。市の基本的な仕事に掛かるお金をまとめた一般会計予算は、都心や駅周辺など札幌の将来に向けた拠点を整備する建設事業費の増加などにより、前年度比324億円増の8,848億円となりました。



## 一般会計予算の内訳



市民1人当たりの市税の負担 144,862円/年  
 市民1人当たりのサービスに掛かる費用 456,596円/年

## 26年度予算のポイント

今後10年間の市のまちづくりの指針である「まちづくり戦略ビジョン」で定めた札幌の未来を実現するために、優先して取り組む「3つのテーマ」と、それを支える「都市空間」に関する事業に積極的に予算を配分しました。

優先して取り組む「3つのテーマ」と「都市空間」

- 暮らし・コミュニティ
- 産業・活力
- 低炭素社会・エネルギー転換
- 都市空間

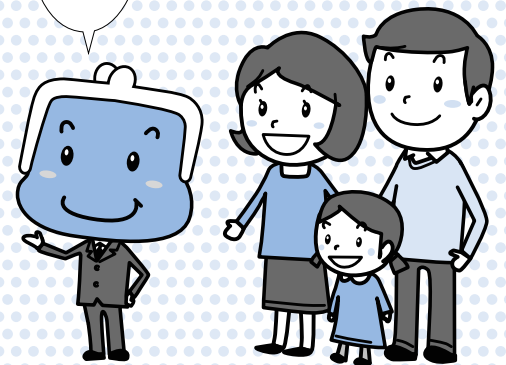
これらは少子高齢化や人口減少などの問題を乗り切るために大切なことなんだ

# 平成26年度の予算を紹介

# さっぽろのお金の使い道

市の1年間のお金の使い道を示した「平成26年度予算」がまとまりました。今年、どのような事業が行われ、私たちの暮らしにどう関わってくるのでしょうか。今回の特集では、本年度の予算の内容と市の取り組みを紹介します。この特集に関する問い合わせは、財政課 ☎(21)2212

僕たちと一緒に見てみよう



次ページからは、26年度の具体的な取り組みを紹介するよ

子ども・子育て

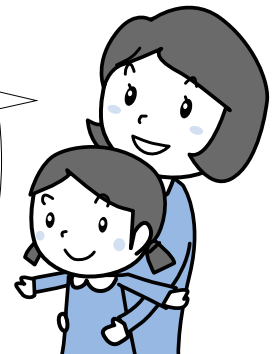
私立保育所の定員を1,180人増やします

27億9,656万円

待機児童を解消するため、私立保育所の新築・増改築の費用などを補助。他にも、新たに市立幼稚園で8時～18時の間、子どもを預けられる「預かり保育」を始めるなど、保育サービスをさらに充実させます。



私もそろそろ働きたいと思っていたのだから、子どもを預けやすくなるのは心強いわ！



5歳児健診・発達相談を開始

1,530万円

10月から

子どもの成長を確認し、就学前の早い時期から発育・発達に応じた支援を行うため、5歳児健診・発達相談を実施。子育ての不安や悩みの解消につなげていきます。



旧小学校校舎を子育てや地域交流の場に

2億5,000万円

27年度オープン

23年度に閉校した旧真駒内緑小学校を改修し、子育てサロンなどを行う「(仮称)南区保育・子育て支援センター」や、子どもが地域の方と一緒に、昔ながらの遊びなどを楽しめる場をつくります。



安心・ぬくもり

避難場所の耐震化や備蓄を充実させます

10億4,220万円

災害時に避難場所となる学校などを耐震化するほか、救援物資の備蓄を増やします。また、避難場所の運営手順などを確認する研修を行い、災害への備えを強化します。



特別養護老人ホームの定員を240人増員

5億5,500万円

居宅での生活が難しい高齢者の増加に対応するため、特別養護老人ホームの新築費用などを補助。新設する施設内には、災害時に介護が必要な方を受け入れるスペースを設けます。

地域のまちづくり

将来の地域課題の検証やまちづくり活動を支援

1,270万円

高齢化や人口減少など、将来に向けて地域が抱える課題の検証を進めます。また、町内会などが地域の課題を共有し、話し合う場を開催する際に、会議の進行役の派遣や地域の課題マップ作製などの支援を行います。



地域の将来についてみんなで話し合っていくことが大切なんだね



他にも > 重度障がいのある方が利用できる施設を拡充(1億3,040万円)、NPOと地域が連携して行う活動を支援(1,600万円) など



経済

道産食品や外食産業の海外進出を支援します

1,880万円

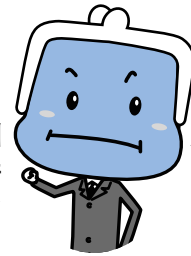
国内市場の縮小が予想される食産業を支えるため、アジアで道内の飲食店が出店するイベントを開催。また、道産日本酒などの輸出拡大を目指し、海外の買い手と道内の事業者を結び付けます。



中小企業の経営を支える融資制度を拡充

807億3,400万円

中小企業の経営改善を支援するため、「経営力強化支援資金」の融資利率を1.3%に引き下げるなど融資条件を拡充し、安定した資金の調達を支えます。



安定した経営が続けられるように、中小企業を応援していくよ

まちの魅力向上

道内市町村との連携を深めます

5,207万円

道内市町村向けに、まちのPRに活用できる札幌市内の施設・手法を紹介する研修会や、各地の風景写真などを集めたイベントを開催。北海道をもっと元気にするための取り組みを進めます。



札幌・北海道の魅力を国内外に発信

1億1,350万円

札幌への観光客を増やすため、東京などの首都圏のほか、経済成長が著しいタイやインドネシアなどの東南アジアでも、札幌・北海道の魅力を伝える事業を行います。



昨年、タイで初音ミクと札幌の写真デザインした電車を運行しました

文化芸術・スポーツ

札幌国際芸術祭2014を開催

[開催期間 7/19 (土) ~ 9/28 (日)]

4億4,800万円

国内外のアーティストが参加し、市内各所で展覧会や多様なアートプロジェクトを展開します。芸術祭を通して市民一人一人の創造性を育み、まちの魅力向上や経済の活性化につなげます。

国際芸術祭については、10ページもご覧ください。



会場となる南区・芸術の森美術館(左)、中央区・道立近代美術館(上)

たくさんさんのアート作品などを見られるのが楽しみ!



世界女子カーリング選手権大会を開催

5,500万円

来年3月に本市では初の開催となる世界選手権大会の運営費用を補助。札幌の国際的な知名度を高めるため、冬季スポーツの国際大会の誘致を進めます。



豊平区の月寒体育館を会場に行われます

豊平館などの文化財を改修

3億8,250万円

文化財を良好な状態で保存し、将来の世代に引き継いでいくために、中島公園内にある豊平館や、旧永山武二郎邸に併設する旧三菱鉱業寮の改修などを行います。



改修前の豊平館

豊平館は28年度オープン

# 低炭素社会・エネルギー転換

新たな技術を積極的に取り入れるなど、環境への負荷が少なく、原発に頼らないまちづくりを進めます

## エネルギー

### まちづくりセンターに 発電・蓄電できる設備を導入

4,200万円

太陽光で発電し、その電力を蓄えるシステムを、幌北・西岡・北野の3つのまちづくりセンターで導入します。

清田区の北野まちづくりセンターのイメージ。外壁に設置した太陽光パネルで発電します



### 札幌にふさわしい エネルギー施策を検討

2,650万円

半世紀先を見据えて、環境・エネルギーの視点から、札幌の目指す姿を描く構想を新たに策定します。また、都心で熱と電力を効率的かつ安定的に供給できる仕組みを検討していきます。

## 環境

### 円山動物園に新施設をつくります

15億9,450万円

サバンナや水辺にすむ動物の生態や、命のつながりの尊さを伝えるアフリカゾーンの工事を本格化。ゾーン内には、木質ペレットを燃料にする環境にやさしいボイラーも設置します。また、ホッキョクグマの繁殖に適した新施設の設計やサル山の改修も進めます。



アフリカゾーンの完成図。11種類の動物を展示する予定です

アフリカゾーンは27年度、新ホッキョクグマ館は28年度オープン予定です



動物園の見どころがどんどん増えていくね！

他にも > 民間事業者による大規模な太陽光発電設備の設置を誘致・補助（1億1,000万円） など

## 都市空間

まちの顔である都心や地下鉄駅周辺などの整備を進め、都市の魅力や活力をさらに高めます

### 路面電車の路線をループ化

20億2,100万円

西4丁目とすすきのの電停の間を結び、路線を環状化。都心での移動をやすくし、まちのさらなるにぎわいを生み出します。



27年度  
運行開始

### 札幌の文化芸術・ 創造的な市民活動の 拠点を整備

160億3,100万円

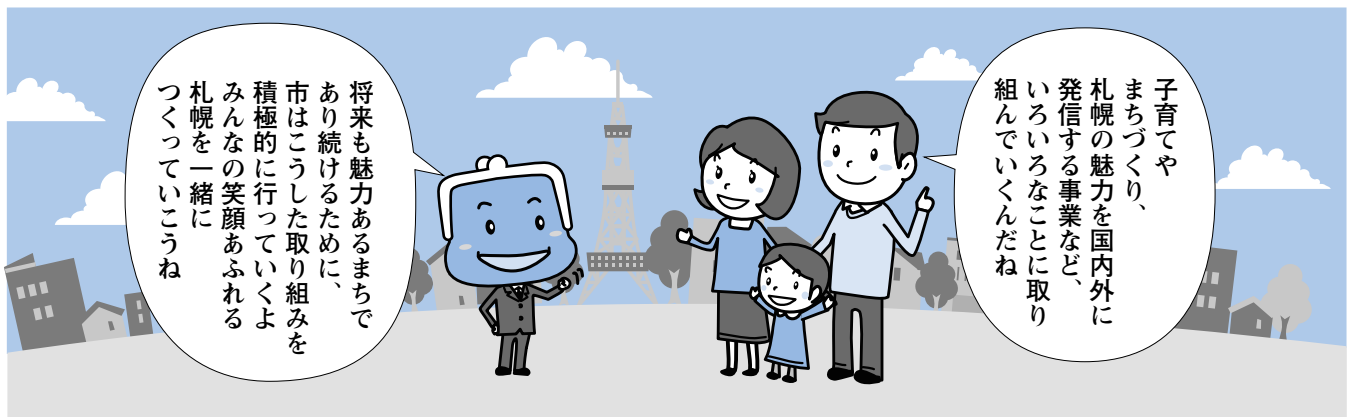
ホールや図書館などを備えた複合施設の整備に向け、土地の取得や運営内容の検討を進めます。



30年度  
オープン  
予定

新施設のイメージ。中央区北1西1地区につくられます

他にも > 白石区役所などの移転整備（13億9,170万円） など



平成26年度予算の詳しい内容はホームページでもご覧になれます

札幌市 予算

検索